

# 村山市立小学校西部地区統合準備委員会（第10回）

日時 令和8年3月12日（木）18:30～

場所 農村環境改善センター 小集会室

## 議事 次第

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 議 事
  - (1) 事業報告等について **【資料1】**
  - (2) No.5 制服・体操着について（協議事項） **【資料2】**  
（総務部会）
  - (3) No.18 学校の特徴・校訓等、No.29 児童生徒学校間交流、  
No.30 葉山学園 PTA 組織について（報告事項） **【資料3】**  
（教育課程部会）
  - (4) No.34-2 学校給食分科会、No.39 スクールバス運行について（報告事項）  
（学校運営部会） **【資料4】**
  - (5) No.41 学童保育について（報告事項） **【資料5】**  
（学校運営部会）
  - (6) No.52 大久保小学校の利活用について（報告事項） **【資料6】**  
（地域連携部会）
  - (7) その他
- 5 閉 会

第10回村山市立小学校西部地区統合準備委員出欠者名簿

□委員

(順不同・敬称略)

No.	カテゴリー	氏名	所属団体等	所属部会	備考
1	地域代表	奥山 陽介	大久保地域代表	校舎整備	
2		石川まゆみ	富本地域代表	地域連携	
3		青柳 孝雄	村山戸沢まちづくり協議会長	総務	委員長
4		佐藤 紀彦	大高根地域代表	校舎整備	
5	学校保護者	佐藤 喬一	村山市立大久保小学校PTA会長	地域連携	副委員長
6		小林 陽介	村山市立富本小学校保護者	学校運営	
7		青柳 悠平	村山市立戸沢小学校保護者	総務	
8		井上結香子	村山市立富並小学校保護者	学校運営	
9		伊藤 真司	村山市立葉山中学校PTA副会長	校舎整備	
10	認定こども園代表	奥野 直樹	村山市はやま認定こども園保護者	学校運営	
11		黒沼 梢	認定こども園ふたば大高根保育園保護者代表	地域連携	
12	小中学校代表	尾崎 惣	村山市立大久保小学校長	教育課程	
13		鈴木 郁子	村山市立富本小学校長	教育課程	
14		高橋 文明	村山市立戸沢小学校長	教育課程	
15		工藤 美紀	村山市立富並小学校長	教育課程	
16		早坂 智	村山市立葉山中学校長	教育課程	

□事務局（村山市・村山市教育委員会）

No.	所属	氏名	兼務	主担当部会	備考
1	教育長	大内 敏彦		-	
2	学校教育課 課長	細谷 充	学校統合推進室 室長	総務	班長
3	教育指導室 室長	村田 紳	学校統合推進室 室長補佐	教育課程	副班長
4	学校教育課 課長補佐	高橋 留美		総務	副班長
5	庶務主査	秋久保洋紀	学校統合推進室 推進主査	学校運営	班長
6	学校統合推進員	笹原 聡	学校統合推進室 学校統合推進員	教育課程	班長
7	生涯学習課 主事	大山 温子		地域連携	
8	子育て支援課 課長補佐	菅原 憲一		学校運営	
9	主任	滝口 雄太		学校運営	

※事務局担当者は、記載されている主担当部会の他にも所属している部会があります。

## 村山市立小学校西部地区統合準備委員会 資料

## 1 事業報告

No.	期日	曜日	事業名	会場
1	1月27日	火	第9回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	農村環境改善センター
2	2月1日	日	むらやま統合タイムズ（第7号）発行	
3	2月3～4日		市議会説明（学校設置条例関連）	村山市役所内
4	2月5日	木	教育課程部会作業班打合せ	葉山中学校
5	2月12日	木	学校運営部会作業班打合せ⑥	農村環境改善センター
6	2月15日	日	むらやま統合タイムズ（第8号）発行	
7	2月18日	水	第3回教育課程部会	葉山中学校
8	2月19日	木	地域連携部会作業班打合せ③	村山市役所内
9	2月27日	金	第5回葉山学園制服分科会	農村環境改善センター
10	3月4日	木	第4回教育課程部会	葉山中学校
11	3月12日	木	第10回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	農村環境改善センター

## 2 事業予定

No.	期日	曜日	内容	部会
1	3月18日	水	第4回教育委員会議・第2回総合教育会議 予定議案（西部関連）（1）校歌、校章 （2）通学距離別通学方法、スクールバス運行 （3）学童保育 （4）コミュニティ・スクール	村山市役所内

## 3 今後の会議予定(案)

No.	期日	曜日	事業名	会場
1	5月下旬		第11回村山市立小学校西部地区統合準備委員会	未定
			※各専門部会、作業部会、分科会は随時開催	小会議室 等

## No.5 制服・体操着について

**協議事項** 制服及び体操着のデザインの方向性について

制服：葉山中学校の制服のデザインを基本とする（素材等の見直しを検討）

体操着：素材や色等も含め、デザインの見直しを行う

### 【第5回葉山学園制服等分科会】

令和8年2月27日（金）18：30～

制服及び体操着のメーカーによる説明

- ・最新の素材や機能性について
- ・現在の葉山中学校の制服や体操着を見直すとしたら、どんな変更が考えられるのか

#### 1 制服

- ・近年の傾向として、ブレザータイプへの見直しが多い。  
見直しのポイント ①価格を抑える ②機能性をアップさせる ③暑さ対策
- ・最新素材（ジャケット）の紹介
  - ① ウール100%のようななめらかで上質な肌触り、ポリエステル65%で耐久性もあり丈夫、撥水性が高く、汚れが付きにくい
  - ② 鉄の200倍の強度で摩擦に強い、耐久性がある
  - ③ ニットと同じ作り方であるためストレッチ性が高い、撥水性もあり
    - ① から③の素材に切り替えた場合、現在のものと比較して6,000円～8,000円程度の価格を抑えることが可能。
- ・多様な性への対応  
男女どちらでも着用できるように、ボタンの位置を左右で変えられる両合わせ兼用のジャケットなどもあり（個人対応可）
- ・夏用制服の紹介  
暑さ対策としてのポロシャツとハーフパンツの採用も増加傾向

（分科会委員の意見）

- ・葉山中学校の制服は古さを感じられず、洗練されたデザイン。ジャケットのボタンを3つから2つにするとスタイリッシュになっていいと思う。リサイクルの流れを崩したくないので、デザインは大きく変えなくていい。
- ・3つボタンと2つボタンの違いがよくわからないが、金色のボタンの色は変えたい。
- ・ボタンが3つだと圧迫感があるので、2つにした方がいい。ジャケットの素材をより機能性の高いものに変えるのがよい。
- ・ズボン、スカートは変えずに、ジャケットを動きやすい素材、洗濯ができる素材に変える。ボタンは2つがいいと思う。

- ・デザインは現行のものをベースにして、素材は自転車通学などを考えると伸縮性のあるものが多い。

## 2 体操着

### ・現在の主流

- ① 軽量で吸汗速乾の素材      ②動きやすさを重視したストレッチ性の向上
- ② 濃色（紺系）の透けにくいTシャツ      ④摩擦に強く穴があきにくい素材 等

### ・デザインの傾向

シンプルで飽きのこないものがトレンド（価格も抑えることが可能）、男女共用のシルエットの増加

### ・ポロシャツタイプの導入

ポロシャツタイプ（襟付き）の体操着を夏の制服としても着用している学校もあり

### ・義務教育学校への対応

1年生～9年生まで原則として同じデザインでも、サイズ展開で仕様を分けるなどの工夫を施す

例：①低学年用は成長を見越して大きめのサイズを購入することが多いため、ズボンの裾にゴムが入って絞られた形（高学年用は裾がストレート）

②低学年用はウエストにゴム入り、150 cm以上のサイズではヒモ付き 等

### （分科会委員の意見）

- ・紺色のTシャツには賛成。今の葉山中の体操着は生地が重くて暑いので、デザインをそのまま生かして素材を変えるか、またはすべて一新するのがよい。ズボンの生地は傷に強いもので、耐久性が大事だと思う。
- ・今の生地は重たいと思う。洗濯してもすぐに乾くような素材に変えてもいいと思う。
- ・素材は変えて、色も濃い色にした方がよい。
- ・素材は薄すぎても耐久性が心配。黒っぽい色も恰好いいかと思う。色は変えてもよいのでは。
- ・色は紺系で、デザインも今風のものにしたほうがよい。1年生～4年生は手首のところにゴムが入ったものの方が動きやすいと思う。5年生以上にゴムは不要。
- ・ズボンのすそのゴムはいいと思うが、学年が上がると嫌がるだろう。色は今のものよりも濃い色にすると、ガラッと雰囲気が変わるイメージになる。

## No.18 学校の特徴・校訓等について

## 村山市小学校統合準備委員会（西部地区） 教育課程部会作業班

## 1. 「校訓」「学校経営方針」「学校教育目標」作成のタイムスケジュール

## (1) 当初予定

- 令和7年度2月「案」作成
- 令和8年度2月 決定
- 令和9年度 微調整                   ⇒ 令和10年度4月 開校

## (2) 今後の見通し

- 令和7年度3月 「校訓」のイメージを決定
- 令和8年度5月 「校訓」決定 『「校訓」に込めた願い』作成  
⇒ 準備委員会 教育委員会 総合教育会議
- 令和8年度7月 「校章」公募開始
- 令和8年度2月 「学校経営方針」「学校教育目標」を決定
- 令和9年度 微調整
- 令和10年度4月 開校

## 2. 「校訓」作成のイメージ

## (1) 文言の形状

例)・3つの熟語 ・3つの言葉 等

## (2) 具体案

## 2/18 (水) の話し合い

- |     |     |         |                  |
|-----|-----|---------|------------------|
| ○高志 | ○ { | 高い 志    | ○学校像・子ども像        |
|     |     | 広い 知    | 学びこむ ⇒ 向学 好学     |
|     |     | 深い 愛 感性 | 感動 躍動 ⇒ 感性       |
|     |     |         | 誉れ高さ姿 ⇒ プライド 愛校心 |

## 3/4 (水) の話し合い

- |  |                                     |
|--|-------------------------------------|
| ○高志剛健 知行合一                             | ○好学向上                               |
| ○卒業する時の姿をイメージしてよいが<br>どの学年でも膨らませて扱える文言 | ○楯中は動詞「学ぶ 響く 琢く」<br>形容詞では「高く 広く 深く」 |

## ◎現時点での「案」

- ・3つの言葉にする
- ・それぞれの学年に合った意味付けができる言葉

## No.29 児童生徒学校間交流について

### (1) 令和8年度 2校交流

- ・大久保小と富本小
- ・戸沢小と富並小

- ① 交流時期 年間3回(7月・9月・12月)
- ② 交流の仕方
  - ・教科学習(外国語など)
  - ・技能教科(体育など)
  - ・特別活動(学級活動など)

### (2) 令和9年度 4校交流

- ・大久保小、富本小、戸沢小、富並小

- ① 交流時期 年間3回(7月・9月・12月) ※今後検討
- ② 交流の仕方
  - ・教科学習(外国語など) ※前年度の反省を活用し、検討
  - ・技能教科(体育など)
  - ・特別活動(学級活動など)

### (3) 令和8年度 6年生交流

- ① 交流時期 令和8年11月20日(金)
- ② 交流の仕方
  - ・教科学習(外国語など)
  - ・技能教科(体育など)
  - ・特別活動(学級活動など)

## No.30 葉山学園PTA組織について

### (1) 検討組織

- ① 葉山中学校区PTA連絡協議会 令和8年度担当校 富並小学校
- ② 検討方法
  - ・年間4～5回の検討委員会を実施
  - ・第1回を5月に実施できるように担当校で準備中

## 村山市立小学校統合準備委員会学校運営部会給食分科会設置要綱（案）

## （目的及び設置）

第1条 村山市の学校統合における給食事業について、より良い給食のあり方について必要な準備、検討、調整を図るため、村山市立小学校統合準備委員会学校運営部会給食分科会（以下「分科会」という。）を設置する。

## （所掌事務）

第2条 分科会は、次項に定める事項を調査及び検討するものとする。

- (1) より良い給食のあり方に関すること
- (2) 安心安全な給食の提供、食材の調達に関すること。
- (3) 前号に掲げるもののほか、分科会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

## （組織）

第3条 分科会は委員20人程度で組織し、次の各号に掲げるもののうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 村山市立小学校統合準備委員会委員
- (2) 村山市学校給食衛生委員会委員
- (3) 児童及び生徒の保護者を代表する者
- (4) 村山市農林課職員
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

## （任期）

第4条 委員の任期は、委嘱の日から当該年度の最終日までとする。ただし、継続再任を妨げないものとする。

2 教育委員会は、前項の規定によるもののほか、委員の追加が必要なとき、あるいは委員が欠けたときなど、必要に応じて委員を委嘱するものとする。

## （委員長及び副委員長）

第5条 分科会に委員長及び副委員長1人を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。
- 3 委員長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

## （庶務）

第5条 分科会の庶務は、教育委員会学校教育課において処理する。

## （その他）

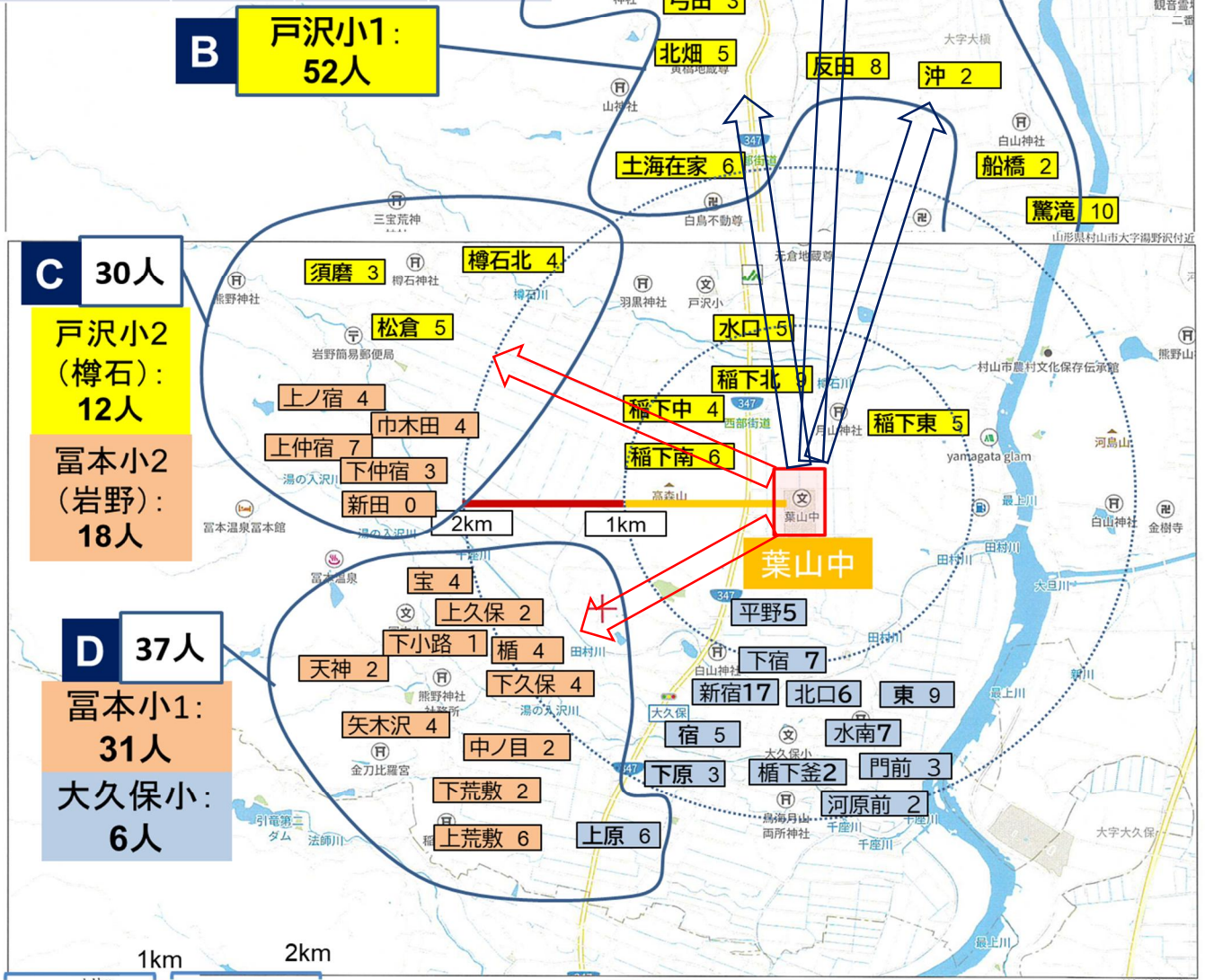
第6条 この要綱に定めるもののほか、分科会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

## 附 則

この要綱は、令和7年 月 日から施行する。

令和10年(統合時)の児童生徒数とバス利用者数

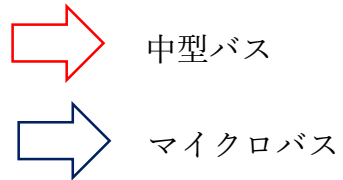
学区	全児童生徒数(人)	バス利用者数	表示色
富並小	27	A 27	地区 27
戸沢小	95	B 52	地区 52
富本小	49	C 30	地区 49
大久保小	72	D 37	地区 6
計	243	146	60.0%



Copyright(C)2024 ZENRIN CO., LTD.

※参考:同心円距離(内円1km - 外円2km) ≡ 「直線距離/単純距離」  
 ⇔ cf. 「道のり距離/路程距離/実測距離」

区分	車種	全長(m)	全幅(m)	定員(人)
中型バス	・日野 メルファ ・いすゞ ガーラミオ	8.99	2.34	44
小型バス (マイクロバス)	・三菱ふそう ローザ	6.99	2.01	29



# 小学校統合に伴う放課後児童クラブの在り方について 【資料5】

## 1 趣 旨

現在、進行している市内小学校の統合計画に併せて、放課後児童クラブの在り方について検討を行っている。

## 2 現 状

放課後児童クラブの状況（公設民営 7 クラブ、民設民営 1 クラブ）令和 7 年 5 月時点

小学校	児童数 (人)	クラブ名	児童数 (人)	利用率 (%)	運営母体
■東部地区					
楯岡小学校	495	たてやまキッズクラブ	183	58	NPO 法人ランドセル
		学童クラブD-ぼけっと	106		花岡学園（民設民営）
西郷小学校	82	コスモスきっずクラブ	40	49	運営委員会（まち協）
袖崎小学校	40	洗心児童クラブ	34	85	NPO 法人ランドセル
■西部地区					
大久保小学校	54	GoGo キッズクラブ	29	54	運営委員会（まち協）
富本小学校	41	はや丸キッズクラブ	26	63	NPO 法人ランドセル
戸沢小学校	67	さんさんキッズクラブ	39	58	NPO 法人ランドセル
富並小学校	20	あじさいっ子クラブ	20	100	運営委員会（まち協）

## 3 経 過

令和 7 年 6 月 東部・西部地区 各学校統合準備委員会  
 ～ 8 年 3 月 ・葉山学園から各地域学童へのスクールバス活用の検討  
 ・学童利用率及び現施設を活用することに関する希望調査を行う  
 令和 7 年 12 月 西部地区小学校統合に伴う学童保育に関するアンケート実施  
 ※アンケートの結果及び分析・・・次頁のとおり

## 4 統合後の在り方方針（案）及び課題

方針（案） 現在の小学校区ごとにクラブを設置

課 題 西部地区 アンケート結果によると、富本地域及び戸沢地域の保護者の意見が「現地域に設置してほしい」と「大久保小学校へ統合してほしい」の半々となっており、地域ごとに話し合いの場が必要。また、クラブ運営団体が異なることから、大久保小学校への統合の場合は運営団体の一本化が必要。  
 東部地区 利用者数の見込みを調査する。

## 5 今後のスケジュール

西部地区	東部地区
令和8年3月 総合教育会議（18日） 市議会全員協議会（19日）	令和8年9月 アンケート調査実施 在り方検討
4月 クラブ運営団体との調整	9年8月 方針決定
5月 地域ごとに意見交換	
8月 方針決定 ※大久保小学校校舎へ統合 する地域の有無を決定	

## 西部地区小学校統合に伴う学童保育に関するアンケート調査 結果報告

【対象者数145人、回答者数101人、回答率70%（101人／145人）】

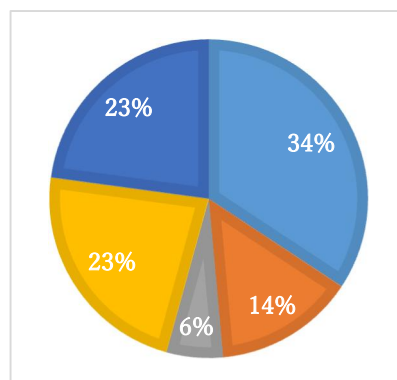
### 大久保地域：対象者数35人、回答者数27人、回答率77%

- ① 現小学校区：12人
- ② 統合し現・大久保小学校：5人
- ③ その他の場所：2人（葉山学園内、葉山学園敷地内）
- ④ 学童保育を利用する予定がない：8人
- ⑤ 未回答：8人

【分析】ほぼすべての学童保育利用予定者が、現小学校区での学童保育を希望している。

#### 【主な自由記載】

- ①学童保育は保護者の就労支援施設であるため、住んでいるところに近い方がよい。
- ①子供達も初めのうちは慣れない環境に戸惑うと思う。学童が今と変わらないと子供達も安心すると思う。
- ③学童も学校と同じところにあった方がお迎えの観点からも便利。



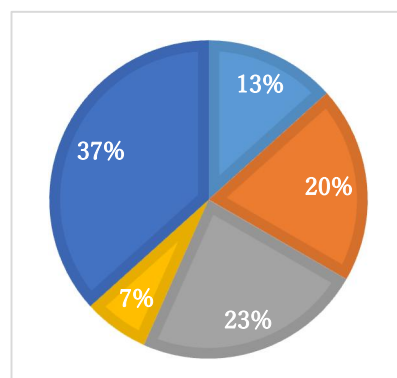
### 富本地域：対象者数30人、回答者数19人、回答率63%

- ① 現小学校区：4人
- ② 統合し現・大久保小学校：6人
- ③ その他の場所：7人（葉山学園内、葉山学園敷地内、富本地域市民センター）
- ④ 学童保育を利用する予定がない：2人
- ⑤ 未回答：11人

【分析】学童保育利用予定者の意見が分かれており、地域でのより具体的な話し合いが必要。

#### 【主な自由記載】

- ①慣れた環境慣れた人たちで放課後は過ごさせたい。
- ②せっかく統合して人数が増えるのに各地区に戻って少ない人数で保育になるのは寂しい。
- ③学校から学童まで近く、子どもの移動が楽で、親としても安心。



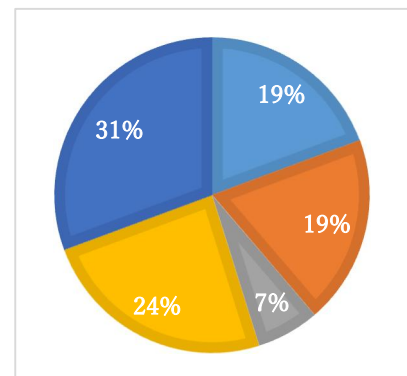
**戸沢地域**：対象者数62人、回答者数43人、回答率69%

- ① 現小学校区：12人
- ② 統合し現・大久保小学校：12人
- ③ その他の場所：4人（葉山学園内、学校に近い所）
- ④ 学童保育を利用する予定がない：15人
- ⑤ 未回答：19人

【分析】学童保育利用予定者の意見が分かれており、地域でのより具体的な話し合いが必要。

【主な自由記載】

- ①（戸沢小学校は）広いし色々な使い方ができるんじゃないかと。
- ②子どもたちのことを考えたら、学童はあくまで一つであるべきだと思います。
- ③学童へ移動する際の事故防止のためにも、極力移動を減らしたい。



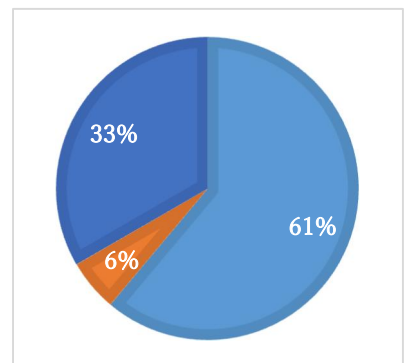
**大高根地域**：対象者数18人、回答者数12人、回答率67%

- ① 現小学校区：11人
- ② 統合し現・大久保小学校：1人
- ③ その他の場所：0人
- ④ 学童保育を利用する予定がない：0人
- ⑤ 未回答：6人

【分析】ほぼすべての学童保育利用予定者が、現小学校区での学童保育を希望している。

【主な自由記載】

- ①大久保小まで車で15分はかかってしまう。現小学校区でないと送迎するのが大変。特に長期休暇、冬季間等。
- ①今の学童の先生方もいい方だし、保育の質にも満足しているので、今のまま継続してほしい。



検討項目		No.52	大久保小学校の利活用		R7.7.11 作成	【資料6】
《スケジュール》			【部会名】	地域連携部会	【担当者】	高橋 留美
年	月	日	内容			
07	09		関係課等との調整			
07	09		アクションプランへの計上			
07	11		地域連携部会、関係課等との協議			
08	09		アクションプランへの計上			
08	12		R9当初予算要求			
課 題	大久保小学校の利活用については、葉山学園の給食施設として活用する以外にもいくつかの活用案が考えられ、今後地域の意向も踏まえながら、学校連携部会や関係課との調整をはかる。令和10年の葉山学園開校までに、大久保小学校の改修工事が必要となってくるが、大久保小学校の教育活動に支障を来たさないような配慮が必要。					
調 整	・まちづくり協議会との意見調整 ・庁内の関係課(政策推進課、子育て支援課等)					
予 算						
着手時期	令和7年8月					
完成時期						

## No52: 大久保小学校の利活用

検討期限		令和7年度内		説明	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 市議会 <input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 地域 <input type="checkbox"/> その他( )		
No	検討案	内 容		備考(○メリット/▲デメリット)	候補		
1	葉山学園の給食施設として活用(学校教育課)	義務教育学校の児童生徒分の食数に対応できる施設にするため、現在の給食施設(ランチルームの一部)を改修する。		○新規に給食施設を建設するコストを削減できる。 ▲食数を増やすための改修及び配送に係る費用が必要。			
2	葉山学園のプールとして活用(学校教育課)	大久保小学校のプールを存続の上、葉山学園で活用する。		○プールの新設よりも改修の方が費用は抑えられる。 ▲葉山学園からのバスによる児童の送迎が必要。			
3	大久保地域市民センターとして活用(政策推進課)	老朽化している大久保地域市民センターの移転先として活用する。		○部屋数も多く、広い場所を市民センターとして活用できる。 ▲地域の意見を取り入れた改修が必要になる。			
4	河西地域の学童施設として活用(子育て支援課)	河西地域の学童施設(放課後児童クラブ)として一か所にまとめる。		○学童施設として体育館等の使用も可能。 ▲大久保以外の地域からは一か所にまとめることに対する反発が予想される。			
5	消防車庫等としての活用(消防本部)	1階ピロティ(駐車場)部分の一角を消防車の車庫として活用する。		○消防車配備場所として、現行の四辻付近から移動することで、管理の一元化が可能になる。			
◆特記事項等				イメージ図・写真等			